



青と緑の豊かな活力ある村

広 報

# おんな

平成16年  
9月号  
(No.279)

恩納村 総務課 TEL098 (966) -1200



## 祝 農水産物販売センター『なかゆくい』落成!

村のひと 平成16年7月

男	5,168人	(+ 3)
女	4,937人	(- 1)
計	10,105人	(+ 2)
世帯数	3,850世帯	(+ 8)

- ◆ 第21回うんなまつり写真集
- ◆ 遊ビリテーションでちゃ〜がんじゅ〜!
- ◆ ちえこのカンボジア日記 vol.4
- ◆ むらの話題:ちゃんとおはがき届くかな? 他



# 海藻おしば展・講演会

~ちゅら海からの贈り物~

## 野田 三千代 海藻おしば展

平成16年10月9日(土)~17日(日) (但し12日火曜日休館)

入館時間: 午前9:00 ~ 午後4:30

入館料: 高校生以下30円、大学生50円、大人100円



## 講演会

平成16年10月9日(土) 午後3時より

### 【講師】

野田 三千代

(海藻おしば協会会長、筑波大学下田臨海実験センター非常勤職員)

横濱 康継

(元筑波大学教授、志津川町自然環境活用センター所長)

当真 武

(元沖縄県海洋深層水研究所所長)

入場料: 無料



場 所: 恩納村博物館



共 催: 恩納村(役場、教育委員会、博物館、商工会、漁業協同組合)  
後 援: 海藻おしば協会、筑波大学下田臨海実験センター

## ごあいさつ

恩納村長 志喜屋 文康



本日ここに、沖縄米軍基地所在市町村活性化特別事業、通称島田懇談会事業の北西部四村観光連携型養殖場整備事業において、恩納村の海ぶどう養殖施設並びに水産物共同処理

加工施設、水産物加工流通施設、伊江村と伊是名村のトコブシ養殖施設、伊平屋村のヒラメ等養殖施設、そして本村の農水産物販売センターの落成により無事事業が完了、オープンの日を迎えました。多くのご来賓をお迎えして農水産物販売センターの落成記念式典を挙行することが出来ます事はこの上ない喜びであり、衷心より厚くお礼申し上げます。

恩納村農水産物販売センターはエメラルドグリーンの海と亜熱帯の植物が生い茂る山々に囲まれ、すぐ近くを幹線道路である国道58号が西海岸線に沿ってやんばるへと向かう玄関口として過去から現代へと様々な人たちがこの道を通り、歴史の移り変わりを見てきた由緒あるところでもあります。古代より多くの人々と物資、それに情報とが行き交う歴史の道「国頭方西海道」として栄えたこの地に、新たな地域交流の拠点と地域に開かれたサービスエリアとして本施設がオープンの運びとなりましたことは誠に喜びにたえません。本日に至るまで関係者各位のご尽力に対し、心から感謝申し上げますとともに厚くお礼申し上げます。

恩納村では、多くの村民が生業としてきた農業・漁業も時代の流れに伴い様変わりを見せ、農業ではこれまでのサトウキビ栽培に加え、花卉類や熱帯果樹、野菜類など多様な作物が栽培されています。漁業も「獲る漁業」だけに頼らず、モズクや海ぶどう、ヒラメ、ヤイトハタ、トコブシ等の養殖業が年々成果を上げております。

そして美しい海を望むことのできるこの施設において、新しい交流が生まれ、また恩納村の魅力を全国に情報発信する新たな拠点として、地場産業の販路の確保や拡大の面でも新たな飛躍が期待できるものと考え、関係四村と連携を図りながら、相互の農水産業の発展に最大限努力をしてみたいと存じます。

どうか皆様の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。本施設の建設並びに竣工にあたり、貴重な提言を賜りました有識者懇談会座長の島田晴雄先生はじめ事業実施にご指導賜りました、内閣府をはじめ防衛施設本庁、那覇防衛施設局、沖縄県並びに関係者各位に深甚なる感謝を申し上げます。

平成16年7月31日


# 恩納村農水産物販売センター なかゆくい落成！



# あなたも農水産物販売センターに 農産物を出品してみませんか？

生産者の皆さん、こんにちは！

日中の暑さはまだまだ厳しいですが、毎日お仕事お疲れさまです。

さて、8月1日(日)より恩納村農水産物販売センター「なかゆくい」が開業し、早一カ月が過ぎました。

恩納村農水産物販売センター「なかゆくい」では、地元で生産された安心できる農産物を豊富に用意し、新鮮なうちに地域の方々にお手頃な価格で提供する事を目的としています。

そこで農業が専業の方はもちろん、小さな家庭菜園をお持ちの方でも気軽に参加できるよう広く村民の皆様からの出品者を募集いたします。

ご希望の方は事前に出品の登録が必要ですので、詳しくは下記の販売センター農産物販売担当者までお問合せ下さい。



恩納村農水産物販売センター  
**なかゆくい**

TEL. (098)964 - 1188  
FAX. (098)964 - 1185

農産物販売担当：冨着 良



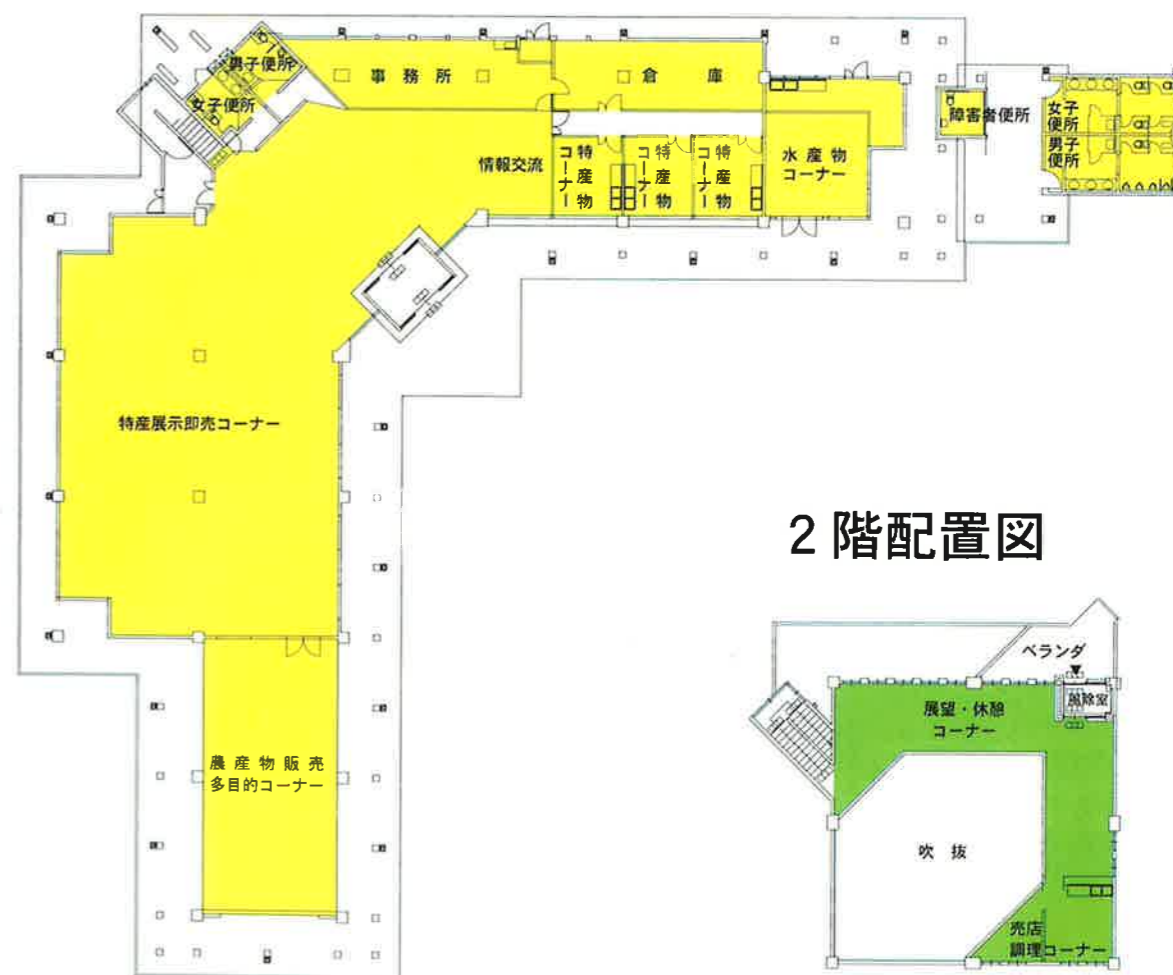
## 恩納村農水産物販売センター



### 恩納村農水産物販売センター概要

- 所在地：恩納村字仲泊1656番地の9  
 総工事費：296,600千円  
 延べ床面積：1,189,28㎡  
 構造：鉄筋コンクリート造り一部2階  
 敷地面積：7,380㎡  
 施設内容：駐車場/全体74台（大型5台、普通車64台、身障者用5台）
- 1階 特産品展示販売、水産物コーナー  
 特産物販売、農産物、多目的コーナー
- 2階 展望休憩（食事）、調理コーナー

### 1階配置図



### 2階配置図





▲体のすじを伸ばす運動をする山田区のみなさん



▲嘉数先生の話に耳を傾ける参加者のみなさん

遊ビリテーシヨンでちゃーがんじゅー!  
社協ミニデイサービスイ山田

村内15字で実施している恩納村社会福祉協議会主催のミニデイサービス「遊ビリテーシヨン」が催されました。遊ビリテーシヨンは、遊びながら、楽しみながら健康を維持するためのリハビリを行うと付けられた名称です。健康なうちに体を鍛えようと山田区のミニデイ参加者の会「カラサチクラブ」の会員31名が椅子に座った状態で、体のすじを伸ばす運動をしました。

講師は理学療法士の嘉数智氏。手を合わせ両手の人差し指を上に向け背伸びをする参加者に「はい、右!はい、左!はい、右!はい」と冗談を交えながら和気あいあいと指導していました。カラサチクラブ会長の屋良朝雄さんは「普段使わない筋肉を使うのでいい運動になるし話もためになる」と運動に励んでいました。



第21回うんなまつり



Vol.4 恩納村保健師：伊波智恵子

カンボジアの生活 No.1 (食事編1)



▲ちえこさん愛読の月刊誌「NyoNyum」

「NyoNyum」という月刊誌でした。日本人が編集しているのももちろん日本語です。現地のいろいろな情報が網羅されていますが、市内の地図や生活必需品の現地価格の紹介があるので、日本価格に慣れた私の頭を切り替えるのにとても役に立っています。その中からまずは食生活の一部を紹介します。

お米は現地の米や香港製があつて3kg約1ドル30セント。日本のお米も売っていますが



▲ヘルシーなカンボジア料理▲

3kg5ドル以上で高いです。調味料は現地の物は約1〜3ドル、台所で使うカゴは1個50セント〜1ドル、500リットルの水は9本セットで約2ドルです。ココナは1本50セントです。輸入品は比較的高くつきまわがその代わり品数は多いので現地のマーケットと外国人向けのマーケットを両方利用して食生活を送っています。ここへ来た当初は1食5ドルの日本食レストランが安く感じましたが、現地のクメールレストランやチャイニーズレストランに行き慣れると、1ドルから結構いい物が食べられるので、最近では3ドル以上のレストランは高く感じます。



▲カンボジア料理には欠かせない調味料たち

「アハ クマエ 干 ユガナー! (カンボジア料理はおいしいよ)」  
カンボジアの生活 (食事編1)・・・つづく

マラリアセンターは相変わらず出張続きで、8月も半分は出張に出かける予定です。少しずつですが私のできることが見えてきました。

ちゃんと  
おはがき  
届くかな？

～学童クラブくじら隊～

文の日の23日に合わせて、7月23日、恩納村仲泊に所在する学童クラブくじら隊（上間ひさ子代表）の児童28名は、牛乳パックをリサイクルして作った赤、青、白色のお手製のはがきを大好きな人たちに送りました。

子どもたちはこの日のために事前に牛乳パックのリサイクルはがきを作り、保育士にはがきの書き方を習いながら、大好きなお母さんやおばあちゃん、おじいちゃんに宛ててメッセージを書きました。仲泊郵便局で一人ひとり切手を購入し、ポストへ投函しました。



▲「ちゃんと届きますように」一人ひとりポストにはがきを投函する学童たち



▲はい、50円切手です。切手もひとりずつ買いました

中体連陸上優勝報告

～仲泊中学校の山城郁也君～



▲第31回県中学校総合体育大会夏季陸上競技の2年生男子1,500メートルの部で優勝した山城郁也君(手前中央)と吉本勝校長(手前左)

第31回県中学校総合体育大会夏季陸上競技の2年生男子一、五〇〇メートルの部で優勝した恩納村立仲泊中（吉本勝校長）の山城郁也君が7月27日、教育委員会を訪れ、優勝報告をしました。記録は、4分33秒19。野球部のピッチャーで日頃からランニングで足腰を鍛えているそうです。

昨年は2位、今年は1位と順位を上げ、根路銘監督も大喜び。2年連続の快挙に学校関係者も沸いています。山城君は、「九州大会では4分20秒台を目指して頑張ります」と抱負を述べました。

＝ 明るくはきはきと！ ＝  
第15回恩納村幼稚園児お話大会

恩納村コミュニティセンターにおいて、第15回恩納村幼稚園児お話大会が7月25日、恩納村PTA連合会主催で開催されました。この日のために話を一生懸命覚え、練習してきた村内幼稚園児15人が元氣よく身振り手振りを交えながら「ぐりとぐら」「スイミー」などの民話や創作話を披露しました。会場には出演する園児の父母や祖父母らが応援に駆けつけ、がんばるわが子のビデオ撮影や写真撮影をしていました。

時折話を忘れてしまった園児に担当教諭が教えたりの、コンビの相方に助けられる場面もあつたりと終始和やかな雰囲気でした。恩納幼稚園の双子ちゃん、瀬良垣拓也君と将斗君は「ねえ、とうさん」という絵本の話の息のびつたりあつた話し振りで最後まできはきはきと元氣よく発表しました。西銘宜寿教育長は「大きな声で表情も良く、元氣よく話してくれました。お父さん、お母さん、家へ帰ったら子どもたちをほめてあげてください」と感想を述べました。



▲子どもたちのお話に耳を傾ける観客



▲身振りを交えて一生懸命覚えたと話を話す児童

大事な  
農作物を  
守ろう！

恩納村字名嘉真でこのほど、農業関係者と名嘉真駐在所の連携による「うさぎ山一丁目パトロール隊」が結成されました。今年に入り恩納村字名嘉真、安富祖、喜瀬武原で3件の農産物や農機具等の盗難事件が発生し、丹精込めた農産物が盗難に遭うのを防ごうと生産者やその友人ら約50人で結成しました。7月23日には結成式が名嘉真公民館で行われ17人が参加しました。

パトロール隊の名前の由来は名嘉真の山の一つに「うさぎ山」と呼ばれている山があり、昔その山を住民が拝んでおり、方言で手を合せて「ウサギン」といっていたことがいつの間にか「うさぎ」となったというユニークな説があります。また、名嘉真には正式な「二丁目」はないが、区民の



▲名嘉真区のうさぎ山一丁目パトロール隊のみなさん

間では通称一丁目での場所なのかわかるということで、山の所在に一丁目をつけておもしろいのでは、と「うさぎ山一丁目」に命名されました。

このパトロールは日常において、自家用車に「農産物盗難防止・野鳥乱獲予防パトロール」の表示をし、不審車両等を発見した場合は車両番号を控え、警察に通報するという仕組みです。

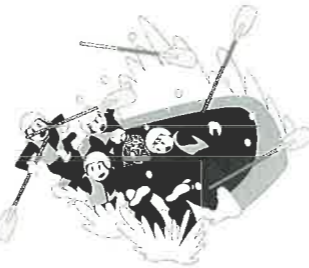
仲嶺真武名嘉真区長は「警察と連携しながら生産者全員が立ち上がることは防犯だけでなく、区の活性化にもつながる」と喜んでおり、名嘉真生産組合代表の當山興幸さんは「安心して農産物が出荷できるよう全員で取り組みたい」と話しました。

## 水難死亡事故多発 緊急アピール ～石川警察署～

県警察では、水難死亡事故が多発傾向にあることを懸念して、海や川でのレクリエーションに際し、充分注意するよう呼びかけております。特に水の季節を迎えた6月から7月にかけては、県内で21件の水難事故が発生し、13人が死亡、今年に入ってからの累計では、43件発生し、実に34人の尊い命が失われております。石川警察署管内でも8月10日現在、9件の水難事故が発生し、8名の死亡者が出ております。

県民や観光客の皆様が次のことに留意して、水難事故を自らの問題として捉え、ご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

- ＊潮干狩り、釣り及びボート等に乗る際には、ライフジャケットを着用しましょう
- ＊荒天時には海岸等に立ち入らないようにするとともに、転落の危険性のある箇所には近寄らないようにしましょう
- ＊飲酒した場合や体調が悪いときの遊泳はやめましょう
- ＊シュノーケルは使用方法等の講習を受け、正しい使い方を身につけ使用しましょう
- ＊子どもだけの遊泳は行わせないとともに、保護者が同伴の場合でも子どもが水から上がるまで確実に見届けましょう
- ＊水難事故が発生した場合にはすぐに近くの大人に助けを求めよう指導を徹底しましょう
- ＊水難事故が発生した場合には、心肺蘇生法等の処置を迅速に行うこと、また、警察や消防等へ通報し、救助措置を講じましょう



## 麻疹(はしか)予防接種はもう済みましたか? ～1歳の誕生日には、はしか予防接種のプレゼントを!～

### 中部福祉保健所管内で麻疹(はしか)患者が発生中!

麻疹は一般には「はしか」と呼ばれているウイルス性の感染症で、とても伝染力が強く、咳やくしゃみにより感染していきます。ワクチン接種を受けてなくて免疫が無ければ、そうとう高い確率で麻疹(はしか)にかかります。

麻疹は決して軽い病気ではありません。入院を要するような重症例も見られます。沖縄県では平成10～11年及び13年には麻疹流行により9人の子どもが亡くなりました。感染予防には予防接種が有効です。1回の予防接種で95%以上が十分な免疫をつけることができます。予防接種を受けると重い合併症はほとんどみられず、またはしかにかかりにくくなります。

1歳から7歳半までは定期接種の範囲内ですので、未接種の子供にはなるべく早くワクチン接種を済ませましょう(無料です)。1歳代の子ははしかにかかりやすいので、1歳のお誕生日を過ぎたらなるべく早い時期にうけるようにしましょう。また、定期接種の年齢枠からはずれた子どもはもちろん、大人も麻疹(はしか)にかかったかどうか不明の場合は、ワクチン接種を行うようお勧めします(この場合は任意接種となり、費用は自己負担となります)。

予防接種のお問い合わせは  
恩納村健康増進課 恩納村総合保健福祉センター  
電話:098-982-3500

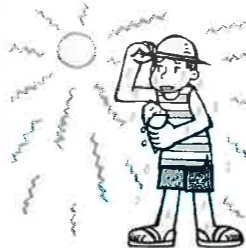
## 熱中症にご用心!

毎日30℃を超える暑さですが、県内で熱中症は今年もすでに発生しており、十分にその危険性を認識しておくことが必要です。

『熱中症』は高温や暑い環境で起こるものとスポーツなど野外活動中に起こるものなどがあります。特に、幼児や高齢者では屋内で脱水症状を起こすことが多く、命の危険を脅かすことも多々あります。

### 【熱中症の起こりやすい条件と予防】

- ★気温はそれ程ではないが湿度が高い場合。(例:気温20℃、湿度80%)
- ★前日までに比べ、急に気温が上がった場合。(風通し良くしましょう)
- ★睡眠不足は熱中症を引き起こしやすく、また、疲労の蓄積、集中力の低下などによってケガなども誘発させますので、睡眠は十分に摂りましょう。
- ★発熱、疲労、下痢、二日酔い、貧血なども原因となります。これらの症状がある場合は水分摂取をしても十分に吸収されないこともあるので長引かせずに、おかしいなと思ったら早めに受診しましょう。
- ★体重の3%以上の水分が失われると体温調整機能に影響が出ると言われていますので運動前後の体重減少が2%以内に収まるよう水分補給と塩分をこまめに摂取しましょう。水分だけでなくスポーツドリンクを加えると良いでしょう。(普段であれば水分1日1.5ℓ～2ℓの飲用)



## 文化財ボランティアガイド養成講座 受講生募集のお知らせ

恩納村の文化財を案内する「文化財ボランティアガイド」養成講座の受講生を募集致します。詳しい内容については下記までお問い合わせ下さい。

【受講料】 無料 (現地講習のみ保険料徴収)

【開講日】 平成16年9月15日(水)より  
隔週水曜日

【時間】 午後7時～午後9時 (恩納村博物館)

### お問い合わせ先

恩納村博物館/担当 町田  
電話:098-982-5112 F A X:098-982-5115

## 不法投棄の禁止!

海浜、河川や道路はもとより、山林や畑などにみだりに廃棄物を捨てたり、放置することは禁止されています。(廃棄物処理法違反により、5年以下の懲役若しくは1000万円以下の罰金またはこの併科)不法投棄を発見した場合は、投棄物や投棄者の情報(車のナンバー等)を、警察又は福祉環境課までご連絡下さい。



▲警察による現場検証(安富組)



ごみは適正に処理しましょう。  
※石川警察署 TEL.964-4110  
※福祉環境課 TEL.966-2107

## 家出少年及び福祉犯被害少年等の 発見確保活動の強化月間です!

例年、夏休み明けの時期には子どもたちの家出が増える傾向が見られます。家出少年の早期発見保護、子ども達を福祉犯罪から守るための活動を強化するため、沖縄県警は9月の1ヶ月間を『家出少年及び福祉犯被害少年等の発見確保活動の強化月間』とします。夜10時以降に外出している少年や盛り場等の繁華街をはいかしている少年、家出をしていると思われる少年を発見またはそれらの情報を耳にした場合は、石川警察署へ通報するよう地域住民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

また、悩んでいる子どもや子どものことで悩んでいる方は、一人で悩まずに石川警察署生活安全課少年係またはヤングテレフォンコーナーにご相談ください。

石川警察署少年係 0964-4110(内線272・273)  
ヤングテレフォンコーナー 0120-276-556 または 862-0110

## 司法書士法律相談のお知らせ

沖縄県司法書士会では、住民の皆様の権利保全のお役に立ちたいと考え、住民サービスの一環として、無料で法律相談を開いたします。法律等でお悩みの方はお1人で悩まず特設法律相談所までお越しください。

日時:平成16年10月1日(金)  
午後1時から午後4時まで

相談会場:恩納村コミュニティーセンター

相談内容:登記・訴訟・多重債務相談等

お問い合わせ:恩納村役場 総務課 行政係  
TEL 966-1200

## 『青少年に母の愛を』 第1回チャリティーショー

地域活動の推進による青少年の非行防止と更生の援助を目的に琉球舞踊・日舞・カラオケ等のチャリティーショーを開催します。

日時:平成16年10月10日(日)午後6時30分

場所:恩納村コミュニティーセンター

入場料:前売り 1,000円 当日 1,200円

主催/恩納村更生保護女性会  
後援/恩納村保護司会、恩納村婦人団体連絡協議会、  
恩納村老人クラブ連合会  
協賛/恩納村役場、恩納村社会福祉協議会  
恩納村民生委員・児童委員協議会

## 疎開関係者のみなさまへ

県では、平成17年度に戦後60周年を迎えることを機に、学童疎開経験者と当時お世話になった疎開先の方々(宮崎、熊本、大分、台湾等)を招待し、式典等の事業を計画しています。それに先立って、学童疎開経験者に電話でアンケート調査をしておりますが、そもそも6千5百人といわれる学童疎開経験者の現在の連絡先が戦後60年近くを経過した今、なかなかわかりません。現在でも、学童疎開の関係者で交流を持っているグループ等や学童疎開をしたが横のつながりがまったくない方がいらっしゃいましたら下記までご連絡願います。

連絡先 (財)南西地域産業活性化センター  
那覇市久茂地3-15-9 アルテビル那覇内  
電話 098-866-4660 098-941-5367～68  
F A X 098-951-2181